

情報公開

【1】 学校の概要、目標及び計画

1. 法人名 学校法人高橋学園

理事長 高橋 淑子

2. 学校名 札幌どうぶつ専門学校（旧：エス・ワン動物専門学校）

学校長 武田 美千子

所在地 札幌市中央区北1条西19丁目2-7

連絡先 Tel 011-623-1121 Fax 011-623-1122

HP URL <https://s-do.ac.jp>

E-mail info@s-do.ac.jp

3. 沿革

1947年 本校の母体であるペットの総合卸売商社「第一ペット商事株式会社」設立
様々なペットを取り扱うほか、小鳥の飼料の製造販売、ペット関連商品の
卸売販売を開始

1989年 ペット業界の人材育成を目指し、「北海道エス・ワングルーミングスクール」開校
犬の美容学科、動物看護学科（北海道初）を設置

1992年 （公社）日本愛玩動物協会 愛玩動物飼養管理士養成認定校となる

1999年 家庭犬しつけ訓練学科設置（現ペットライフ学科）

日本小動物獣医師会 動物看護師養成認定校となる

2004年 私立専修学校設置許可を受け、学校法人となる

学校名を「エス・ワン動物専門学校」へ変更

犬の美容学科、動物看護学科、ペットライフ学科の3学科を設置

2011年 （社）ペットエステティック国際協会認定校となる（北海道内初）

（財）国際セラピードッグ協会認定校となる（北海道内初）

2013年 新校舎完成・移転

2014年 文部科学大臣より設置3学科が「職業実践専門課程」の認定を受ける

2018年 専攻科（1年制）を設置

2020年 校名を「札幌どうぶつ専門学校」に変更

4. 基本理念

○ 周囲を気遣い、人を思いやる気持ちをもつ人

○ 明るく朗らかで笑顔のある人

○ 素直な気持ちで感謝を伝えることができる人

○ 自らが気づき、動き、考えて、進めていこうとする「自立した自分」を
目指そうとする意志のある人

5. 教育方針（目標）

ペットに関する確かな知識と技術を備え、いのちに対してあふれる慈愛を注ぐことの出来る
動物のプロフェッショナルを養成。

「人とペットとの幸福な絆づくり」を通して、心の豊かな社会の実現に貢献します。

【2】 各学科の教育

1. 入学定員・修業年限・在籍数（令和3年度）

学科名	定員	修業年限	在籍数	
			1年	2年
犬の美容学科	20名	2年	16名	12名
動物看護学科	20名	2年	22名	17名
ペットライフ学科	20名	2年	14名	8名
専攻科	10名	1年	0名	

2. カリキュラム等

別添

2. 目標資格

- ジュニアトリマーライセンス
- インターミディットトリマーライセンス
- シニアトリマーライセンス
- ペットライフインストラクターライセンス
- 愛玩動物飼養管理士（1・2級）
- TCM Tui Na massage
- ペットエステティック国際協会認定ペットエステティシャン
- 国際セラピードッグ協会認定ジュニアハンドラー
- 動物看護師統一認定機構動物看護師
- 介護職員初任者研修修了者
- 損害保険募集人（任意） ○ ペットフード販売士（任意）
- 全身性障がい者移動介護従事者（任意） ○ 同行援護従事者（任意）

3. 卒業後の進路（令和2年度）

就職希望者 32名中 32名決定 就職率 100%

【3】 教職員（令和3年度）

教員氏名	担当教科	
原 順造（犬の美容学科アドバイザー）	グルーミング全般	プログルーマー養成校 ユウガーグループ代表
高橋 徹（獣医師） （動物看護学科アドバイザー）	動物外科看護実習Ⅱ	高橋動物病院会長 北海道獣医師会会長
大木 トオル（ペットライフ学科アドバイザー）	セラピー犬ハンドラー育成実習Ⅰ・Ⅱ	（財）国際セラピードッグ協会 代表
高橋 宣充（獣医師）	動物外科看護学Ⅰ	ハーティ動物病院院長
高野 美樹男（獣医師）	産業動物学・実験動物学	酪農学園大学教授
岩崎 忍（獣医師）	動物臨床検査学、動物外科看護学Ⅱ、他	
徳田 龍弘（獣医師）	野生動物学、動物感染症学、他	
薄田 治夫（獣医師）	動物病理学、動物薬理学他	
森 九重（獣医師）	公衆衛生学、動物形態機能学Ⅰ	

池田 麻美 (動物看護師)	動物飼養管理学 I・II、動物臨床栄養学他	
櫻間 麻友 (動物看護師)	動物形態機能学 II	
長崎 幸恵 (トリマー)	グルーミング基礎・応用実習、ペットエステ	
有壁 和 (トリマー)	トリミング応用実習 II 他	
西山 祥子 (動物看護師)	動物内科看護学実習、動物看護学 他	
伊藤 航 (動物看護師)	動物看護学概論 I・II 他	しば動物病院動物看護師
名取 裕憲 (訓練士)	セラピー犬ハンドラー育成実習 I・II 他	
新出 陽子 (訓練士)	家庭犬適性飼養学、家庭犬使用学実習他	
立石 淳子	動物飼養管理学	(1級愛玩動物飼養管理士)
相木 孝子	動物飼養管理学	(1級愛玩動物飼養管理士)
藤井 美樹子	動物行動学 (猫学)	
川地 浩子	ペットマッサージ	
佐渡 夏子	介護職員初任者研修	日本福祉介護教育センター代表
堂下 智子	ビジネスマナー学	
佐藤 尚之	手話学	(公) 札幌聴力障害者協会

【4】 キャリア教育・実践的職業教育

1. キャリア教育

企業と連携した実践的職業教育の充実を図り、質の向上に努める。

専門技術のみならず、ビジネスマナー (挨拶・話し方等) 教育を取り入れ、社会人として必要な知識を身に着ける指導を行っている。

2. 実践的職業教育

全学科、企業と連携して専門職技術の現場実習 (インターンシップ) を行い、実際の業務やマナー等を学び、即戦力となる人材の育成に努める。

また、現在実社会で活躍する人々を講師として取り入れ、授業においても最新の技術等を習得できる。

3. 就職支援

- ・全学科に担当教員が付き、就職活動において適切なアドバイスを行い、企業とのミスマッチを少なくし、学生に安心を与えられる指導を行う。

- ・学校の設立母体である「第一ペット商事株式会社」から業界の動向や求人事情をリアルタイムでいただけることで、就職活動に有利となります。

- ・授業においても、現在現場で活躍する先輩の特別授業を実施し、仕事の話。就職活動などの体験談から、学生の就活に生かします。

- ・動物系専門学校による、「合同企業説明会」を実施し就職支援を行う。

【5】 様々な教育活動

1. 学校行事

ペット用品展示会、ワンワンフェスタ、体育大会、学校祭、研修旅行
見学旅行（小樽水族館・円山動物園）、クリスマスパーティ

2. 動物関連協会・施設見学

北海道盲導犬協会、動物管理センター、酪農学園大学附属病院

3. 地域活動

人とペットの暮らし ひろば（北海道、札幌市、札幌市小動物獣医師会主催）に参加

【6】 学生の生活支援

1. 経済的な支援

・本校独自の経済支援として、「AO 入試奨学金」「指定校推薦入学奨学金」制度の実施や
特待生制度により、授業料の免除制度を実施。

また、日本学生支援機構奨学金をはじめとする、学費サポート等の案内及び手続を実施して、
経済状態の厳しい学生のための受け入れ体制を作っている。

2. 学生への支援活動

・欠席等の多い学生へは、電話（メール）連絡、個人面談の実施、保護者への連絡などを行い、
中途退学者を出さないようコミュニケーションをとり、学生の状況把握に努める。

【7】 学生納付金

1. 納付金（令和3年度）

	犬の美容・動物看護・ペットライフ学科		専攻科
	1年次	2年次	1年次
入学金	100,000		100,000
授業料	600,000	600,000	520,000
設備維持費	100,000	100,000	87,000
実験実習費	150,000	150,000	130,000
計	950,000	850,000	837,000

上記以外に、以下の金額が必要となります。

- ・1年次の教科書・教材費、実習着等 230,000 円～280,000 円(税別)
- ・2年次の教科書・教材費等 10,000～20,000 円
- ・諸経費（各行事費、学校傷害保険等）70,000 円
- ・本校以外が実施する検定等の受験料及びライセンス登録料の実費
- ・専攻科は教科書・教材費等は 10,000～20,000 円、諸経費がかかります。

2. 納入時期（令和3年度入学の場合）

- ・合格通知受領後 2 週間以内に入学金と前期授業料 1/2 を納入
- ・前期授業料 1/2 と設備維持費、実験実習費は令和年 3 年 1 月末日までに納入
- ・後期授業は令和 3 年 9 月 27 日までに納入
- ・教科書・教材費等は令和 3 年 3 月末日まで納入
- ・分割納入制度あり（要相談）